

「大切にしてきた家に息吹を…」

「未来の伊佐のために…」

皆さまの空き家・空き店舗情報をお待ちしています！

# 空き家・空き店舗

## バンクはじめます

10.1 Debut!

伊佐市は、住宅総数に占める空き家総数の率が県内上位であり、今後さらに空き家が増えていくことが予測されています。

そこで、「空き家・空き店舗バンク事業」を10月から開始し、定住等を希望する人への情報提供・空き店舗等を有効活用した地域活性化など空き家の減少を図ります。



市定住促進サイト「ここがい〜さ」内に、空き家・空き店舗バンクの専用ページを開設します。10月以降、順次、物件を掲載していきます。

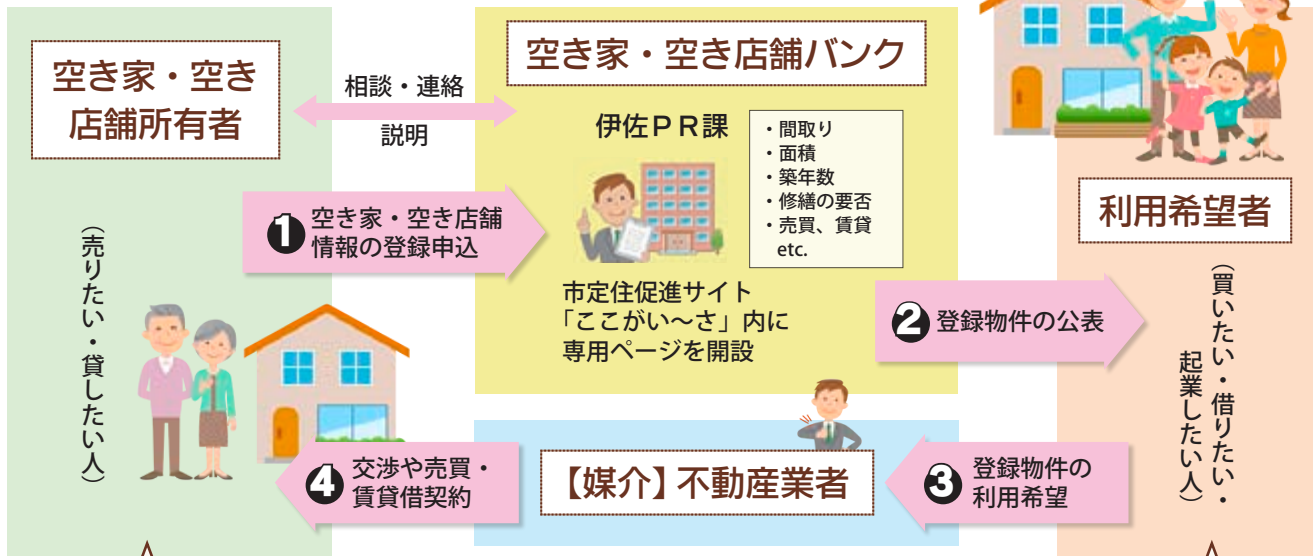
ここがい〜さ  検索

問い合わせ先  
伊佐PR課交流PR第2係 ☎ 4113

### 「不動産業界との協定」

9月6日、「公益社団法人鹿児島県宅地建物取引業協会」及び「公益社団法人全日本不動産協会 鹿児島県本部」と空き家・空き店舗の媒介に関する協定が締結され、伊佐市と伊佐市内の不動産業者が連携していくことが約束されました。





### 伊佐PR課へ連絡

空き家・空き店舗バンク制度についてご説明します。物件の所在地や所有者の連絡先等をお伺いし、必要に応じて市職員が現地確認を行います。

### 登録申込み

次の書類に必要事項を記入してご提出ください。

- (1) 空き家・空き店舗バンク登録申込書
  - (2) 空き家・空き店舗バンク登録カード
- ※様式は、市民課（大口庁舎）・地域総務課（菱刈庁舎）・伊佐PR課（大口ふれあいセンター）または市定住促進サイト「ここがい〜さ」から入手できます。

### 不動産業者の選定

原則として、9月6日に締結した協定に基づき、各協会が不動産業者の選定を行います。

### 所有者、不動産業者、市職員による現地審査

空き家・空き店舗の所有者、不動産業者、市職員により現地確認を行います。この時、建物内外の状態や設備等について確認し、登録できる物件かどうか審査します。

### 審査・登録

書類・現地審査の結果を踏まえ、決定通知書を所有者へ送付し、空き家・空き店舗バンクに登録します。

### ホームページへの反映

物件情報を市定住促進サイト「ここがい〜さ」に掲載します。

### 物件を見る

市定住促進サイト「ここがい〜さ」に掲載された物件情報を閲覧ください。

### 物件に関する問い合わせ

気になる物件があれば、物件ごとに記載された不動産業者等にお問い合わせください。

### 交渉・契約

条件が整えば成約となります。  
※交渉・契約について市は関与しません。

教えて/  
空き家・空き店舗バンク

## Q & A



Q：物件登録の有効期間は？

A：3年間です。期間終了後も更新手続きにより更新が可能です。

Q：古い物件でも登録できるの？

A：廃屋等を除き、使用可能であればどんな物件でも対象となります。まずはお気軽にご相談ください。

Q：隣接農地も一緒に登録できるの？

A：登録できます。本制度に限り、隣接農地の取扱い要件を緩和する予定です。

Q：家財道具が入ったままだけど…

A：登録は可能です（必要に応じて、家財道具を処分していただく場合があります）。

Q：相続等の手続きがまだだけど…

A：市内の専門家（司法書士等）をご案内しますので、まずは市へご相談ください。

没後40年 — その人間性や文学の魅力を探る —

# 海音寺潮五郎

伊佐が生んだ偉大な歴史作家

全6回連載



## 第五回

「運命の川」を読む

— 生きることは働くこと —

鹿児島純心女子大学教授 古閑 章

「運命の川」は、1949（昭和24）年3月『富士』に発表された短篇で、海音寺潮五郎記念館編『海音寺潮五郎未刊作品集（1）』（平成25・7、非売品）に収録されている。



海音寺潮五郎は、1913（昭和14）年秋、那珂川河口の那珂湊町（現・茨城県ひたちなか市）に清遊したおり、明治7年にこの湊町を襲った未曾有の風水害と、それにまつわる長久保なほという女性の事績に触れ、いたく心を動かされる。その間の経緯は「長久保なほ」（『日本歴史を散歩する』、2008・1、PHP研究所）というエッセイに記されている。

代々旗本で、小普請組五百石の家に生まれた神保半次郎は、幕末動乱期、大鳥圭介の門人として頭角を現したが、明治新政府の世になると、時勢の波に乘れなかつた。妻子もあつけなくはやり風邪で失い、氣力をなくした半次郎は、知る辺を頼って那珂湊に辿り着く。ところが、かつて水戸に次ぐ賑わいを見せていた那珂湊は、明治7年秋に見舞われた暴風雨で川筋が変わり、知人も東京に移つていた。運命の皮肉を感じた半次郎は、河口の砂山に登り、腹を切るうと考える。そこへひとりの農婦が現れ、半次郎の行為を押し止める。半次郎は農婦にお

のれの来歴を語るうちに、そのすすめに従い、彼女の家に身を寄せることになる。農婦の名はお直。那珂湊に接する牛久保村の山口藤兵衛に嫁いだ働き者であつた。藤兵衛が亡くなり、息子の代になつた現在は、隠居の身として、嵐で堰き止められた那珂川の砂山をまるで「蟻が一粒々々砂を運んで泰山をうつそうとしている」ような、途方もない行為に没頭していた。

やがて半次郎は、お直と、姪のお雪と一緒に働き始める。周辺の村人は、3人の仕事を好奇の目で眺めたり、嘲笑したりするが、半次郎以外のお直とお雪は、他人の評言にはいっさい耳を貸さず、鍬や鋤をふるい続けた。なかでもお直の、何の成果も期待せず、ひたすら仕事に打ち込む姿勢は凡俗の域を超えていた。しかし、お直にとつて大事なのは「出来るか出来ないか」ではなく、「力のかぎり働くこと」にほかならなかつた。

これまでの不運を振り捨て、どうにかして運命を開きたいという欲望を捨て切れずにいる半次郎。お直はそういう半次郎に、ある時は「急いじゃいけませんよ。急げば疲れるし、飽きるし、思う様に行かないと腹も立ちます。だから、ゆっくりやるがいいのです。一番かんじんなの

は、はかどらせるということより働くということですよ」と言い、ある時は「旦那は自分を見かぎっていらつしやるが、人間というものはどんな人間でも、見かぎつても見かぎつても、見かぎれないほどえらいものなのですよ」と教え諭す。

お直の人生観は「無駄といえば人間のすることは皆無駄ですよ。つまりはみんな消えてしまうのですから。いつも言うことですが、あたしは成就不成就をてんから考えていないのですから無駄だの役に立つのとはそんなことも考えたくないのです。ただたゆまずに働きつづけたらと思つていきますのでねえ」という言葉に尽きていた。

さて、仲秋も過ぎた頃、時節はずれの長雨が続き、那珂川がふたたび氾濫する。結果は、お直らが作った小さな溝に濁流が押し寄せるとともに、砂山はたちまち海に押し流され、那珂川の流れは一夜のうちに戻つたのである。

「天は自ら助くる者を助く」。しかし、それにもまして読み手の心に木霊するのは「人間は成果を期待せずひたすら努力し働くことを尊いのだ」というお直の信念である。利に敏い生き方から逃れられない功利主義者への、頂門の一針と見てよいだろう。海音寺は、長久保なほの「生きることは働くこと」という単純明快な哲学に、戦後の混乱期を生き抜く勇氣を与えられたのであつた。

# インプロビゼーション・パフォーマンス

国際コンタクト・  
インプロビゼーション・  
フェスティバル

**10・9**  
Mon.  
15時開演

会場  
伊佐市文化会館大ホール

入場料 3,000円 高校生以下 1,000円

世界的に活躍する個性派即興のアーティスト  
たちが伊佐市に集結。

ダンス・音楽・照明の全てが即興、舞台上で  
作品が出来上がるコラボレーション・パフォー  
マンスです。



コンタクト・  
インプロビゼーションとは

人との関わりを持ちながら、  
即興で動きを紡ぎ出してい  
くダンスです。

【予約・問い合わせ先】

コンタクト・インプロビゼーション・グループ  
C.I.co. (主催)

メール: ci@ci-jp.com

電話: 090-3910-6716

ウェブサイト: <http://i-dancejapan.net>

後援: 伊佐市・伊佐市教育委員会

助成: 明治維新 150 周年かごしま文化力向上提案事業 (鹿児島県)

## 土木フェスタ・花公園コスモス祭り

重留多目的広場のコスモスが見ごろを迎える時期に合わせ、大口建設業協同組合が“土木フェスタ・花公園コスモス祭り”を開催します。皆さまのご来場をお待ちしています。

日時 10月7日(土) 10時~15時  
場所 重留多目的広場 (ナフコ菱刈店東側)

内容

- ✳ 建設機械の展示
- ✳ 試乗体験ゲーム
- ✳ 高所作業車でのコスモス畑眺望
- ✳ 食べ物販売



問い合わせ先  
大口建設業協同組合 ☎220279

高さ  
22m